

高知憲法速報

No.282 2012. 3. 18

発行:高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

なくそう原発3・11高知集会に1100人

東北地方大震災・福島原発事故から1周年の3月11日、高知市丸ノ内緑地で「なくそう原発3・11高知集会」が開かれました。四万十市からのバス参加など県下各地から1100人が参加し、集会後電車通りから京町までパレードを行って市民にアピールしました。

「グリーン市民ネットワーク高知」の外京ゆりさんが「原発を次の世代に回してはならない。再稼働や輸出などとんでもない」と開会挨拶。親子4人で横浜から疎開してきている「疎開ママの会・虹色くじら」の島津佐知子さんが「食物による内部被曝が心配、子どもが自由に外で遊べる高知の自然を大事にして欲しい」と訴えました。伊方原発差し止め訴訟弁護団の谷脇和仁弁護士は「今回の訴訟は過去の裁判判例を元に、四電の安全立証責任を求め、万一の事態が起こる前の差し止めを要求している」とその意義を語りました。

「脱原発四万十行動」の山本裕子さんは「参加者が増えたり減ったりしたが楽しく行動を続けてきた」と経験を報告。東京電力の元技術者で土佐清水市に住む木村俊雄さんは「福島原発の非常電源が地下にあることに疑問を持ったがそのことは東電ではタブーだった。使用済み核燃料の処理技術が進まない現状に限界を覚えて退職した」と語りました。平和委員会和田忠明さんがパレードの説明。14時46分に黙祷をして犠牲者の冥福を祈りました。平和運動センターの山崎秀一さんが「原発の安全神話も、経済的だという神話も崩れた。窪川原発、津野町・東洋町の核廃処分場も止めた力でこれからも運動しよう」と閉会挨拶してパレードに移りました。高知センター合唱団、高知草笛愛好会、浜田裕介、芝村和天、リトル友子&ともゆきなどが音楽で参加。替え歌楽団も出場しました。この集会は多くの団体が独自のビラを作るなどして参加を呼び掛け、成功させました。テレビ高知、高知新聞、朝日新聞、赤旗、高知民報が取材。また福島県郡山市で一万人、東京で八千人など全国各地で「原発なくそう」の意思を表明する集会が取り組まれました。

「原発をなくし、自然エネルギーを推進する高知県民連絡会」結成総会 4月14日午後

3月11日の「なくそう原発集会」は準備会として取り組んできましたが、いよいよ「原発をなくす高知県民連絡会」を結成します。原発再稼働への動きも強いことから、3月14日集会反省会の合意に基づいて、少し急いで結成することになりました。

日時; 4月14日(土) 午後2時~4時

場所; 高知市青年センター4階「アスパル高知」

(棧橋通り2丁目、駐車場あり)

内容; 講演 伊方訴訟弁護団長・薦田伸夫弁護士

申し合わせ事項確認、役員選出、会の結成

映画「チェルノブイリハート」と木下黄太講演会

3月31日(土)12:45開演 主催; 虹色くじら

高知大学朝倉キャンパス 共通教育2号館222教室

12:50~「チェルノブイリハート」約60分

14:00~16:00 木下黄太さん講演・質疑応答

16:00~「チェルノブイリハート」約60分

参加費; 前売り1000円 当日1300円

かがやけ日本国憲法! 5・3県民のつどい

今年の憲法集会は5月3日午前に開きます。安保条約(旧)発効60年が4月28日です。新しい防衛計画の大綱に基づいて沖縄先島諸島への自衛隊配備、潜水艦隊や飛行隊の増強などが計画されていることから、安保や自衛隊に詳しい内藤功弁護士に講師をお願いしました。ご期待ください。

日時; 5月3日(木)10時~12時 (9時30分開場)

場所; 高知市本町 高新文化ホール

講演; 日本平和委員会代表理事 内藤功弁護士「自衛

隊はどこへ行くのか—現在の情勢と憲法の力—」

講師紹介; 恵庭事件や砂川事件、長沼ナイキ訴訟、百里事件などで弁護団に関わったほか、恵庭裁判で統幕会議事務局長を法廷で証人喚問、自衛隊による有事研究(三矢研究)を明らかにしたことで知られている。イラク派兵違憲訴訟弁護団の顧問も務めた。参議院議員2期12年。現在東京本郷合同法律事務所弁護士。日本平和委員会代表理事など。

演奏; 土佐パタータス・フォルクローレ

参加費; 前売り800円、当日1000円、大学生500円

主催; 高知憲法会議 協賛; こうち九条の会

案内チラシと参加券準備中 参加券は高新プレイガイドでも取り扱います